HEADRUSH Autorune R WX5

ユーザーガイド

目次

(1.0) はじめに
(1.1) 同梱物
(1.2) サポート
(2.0) セットアップ4
(3.0) 製品仕様
(3.1) トップパネル
(3.2) リアパネル9
(4.0) オペレーション11
(4.1) メイン画面の概要11
(4.2) Preset/Edit メニュー12
(4.3) スピード13
(4.4) ヒューマナイズ
(4.5) Key メニュー13
(4.6) AutoTune メニュー14
(4.7) Harmony メニュー14
(4.8) FX メニュー15
(4.9) フットスイッチ・メニュー
(4.10) ファクトリー・リセット
(4.11) Web インターフェース17
(4.12) MIDI コントロール18
(5.0) 付録19
(5.1) プリセット
(5.2) 技術仕様
(5.3) 商標およびライセンス22



(1.0) はじめに

(1.1) 同梱物

AUTO-TUNE VX5 USB ケーブル 電源ケーブル クイックスタートガイド 安全および保証マニュアル

(1.2) サポート

本製品の最新情報(ドキュメント、技術仕様、システム要件、対応情報など)、および製品登録については、<u>headrushfx.com</u>をご覧ください。

追加の製品サポートは、<u>support.headrushfx.com</u>をご利用ください。

PRESET

AUTO-TUN

KEY

FX

(2.0) セットアップ

注:最適な結果を得るには、1 人のボーカリストのみで使用します。

- 1. **PRESET ボタン**を押します。エンコーダーを回し、入力している音声ソースに適したプリセットを選択し、エンコーダーを押して決定します。
- KEY ボタンを押し、PRESET/EDIT エンコーダーを回して、適したキー、スケール、ボーカル・レンジを設定します。
- 3. AUTO-TUNE ボタンを押すことで、AutoTune 機能がオンになります。
- 4. SPEED ノブを調整します。SLOW 設定では、より自然なピッチ補正となり、 FAST 設定では効果がより目立つようになります。
- 5. HUMANIZE ノブを調整することで、持続音に対するピッチ補正をより自然にもし くは機械的にも調整できます。
- HARMONY ボタンを押すことでエフェクトがオンになり、ボタンのバックライトで 確認できます。HARMONY またはFX ボタンを押すことで、それぞれの機能が有 効になります。次に、それぞれのボタンをもう一度押し続けることでメニューに入 ります。また、"Inst." 設定を選択することで、ギター入力をもとにキーおよびスケ ールを自動判別することができます。
- FX ボタンを押すとエフェクトが有効となり、ボタンのバックライトでオンであること が表示されます。FX ボタンを押し続けながらPRESET/EDIT エンコーダーを回 すことで、パラメーターを調整し独自のサウンドを作成できます。

AUTO-TUNE VX5 の使用が終わり、シャットダウンする際は、まず接続している出力機器の電源をオフにし、その後でAutoTune VX5 の電源をオフにします。

接続例

(1.1) はじめに > 同梱物 で記載のないアイテムは別売りとなります。



(3.0) 製品仕様

(3.1) トップパネル



A. ディスプレイ

この1.8 インチのカラー・スクリーンを使ってメニューを表示し、各種パラメーターの編集が可能です。 KEY ボタンを押すことで、ディスプレイ上のメニューに入ることができます。HARMONY またはFX ボタンを長押しすることで、ディスプレイ上の各メニューに入ります。

B. ボリューム (VOLUME)

メイン出力およびヘッドホン出力のレベルが調整できます。

C. プリセット/編集 (PRESET/EDIT)

このエンコーダーを回すことでパラメーターが調整でき、押すとメニューの開始/終了、長押しでプリ セットの保存を行えます。最後に選択したプリセットは、一度電源をオフにしても保持されます。





D. スピード (SPEED)

このノブを回して、入力したオーディオにピッチ補正を適用する速度を調整します。より目立った効果を得る場合は、FAST 方向に設定します。より自然なピッチ補正を行いたい場合は、SLOW 方向に設定します。詳細については、(4.3) スピードを参照してください。

E. ヒューマナイズ (HUMANIZE)

このノブを右に回すことで、持続音の微妙な音程変化を維持し、よりリアルな演奏表現を加えること ができます。ノブを左に回すことで、自然なピッチ補正は最小限に抑えられ、『ロボット』のようなクラ シックな AutoTune 効果に近い設定になります。詳しくは (4.4) ヒューマナイズを参照してください。

F. プリセット・ダウン/A/B モード

このスイッチを押すことで前のプリセットに切り替わります。2 秒間長押しすることでA/B モードに入り、左と右のフットスイッチで選択したエフェクトをプリセット内でオンまたはオフにできます。このフットスイッチを長押しするとA/B モードを終了します。詳しくは (4.9) フットスイッチ・メニューを参照してください。

G. プリセット・アップ/TALK モード

このスイッチを押すことで、次のプリセットに切り替わります。2 秒間長押しすることで、Talk モード が有効になり、AutoTune、Harmony、FX 機能をバイパスするため、ボーカルにはいずれのエフェ クトも適用されません。いずれかのフットスイッチを押すことで、Talk モードが終了します。詳細につ いては、(4.9) フットスイッチ・メニューを参照してください。





H. ピーク LED (PEAK LED)

このLED は、XLR 入力信号がクリップしている場合に赤く点滅します。この場合は、Input Gain ノ ブを使用してマイク・レベルを下げます。

I. プリセット (PRESET)

このボタンを押すことで、プリセット画面に移動し、現在のプリセットを確認したり、他のプリセットを選択したりできます。詳細については、(4.2) Preset/Edit メニューを参照してください。

J. キー (KEY)

Key 画面に移動し、プリセットのキー、スケール、およびボーカル・レンジを選択することができます。 詳細については、(4.5) Keyメニューを参照してください。

K. オートチューン (AUTO-TUNE)

このボタンを押すことで、AutoTune 機能を現在のプリセットでオンまたはオフにすることができます。詳細については、(4.6) AutoTune メニューを参照してください。

L. ハーモニー (HARMONY)

このボタンを押すことで、Harmony 機能を現在のプリセットでオンまたはオフにすることができます。 本体がオンの際には、バックライトが点灯します。ボタンを長押しすることで、パラメーター編集画面 に入ることができます。詳細については、(4.7) Harmony メニューを参照してください。

M. FX

このボタンを1回押すことで、現在のプリセットのFX 機能をオンまたはオフに切り替えることができます。本体がオンの際には、バックライトが点灯します。ボタンを長押しすることで、パラメーター編 集画面に入ることができます。詳細については、(4.8) FX メニューを参照してください。



(3.2) リアパネル



- A. ギター入力(右側パネル、6.3mm TS、モノラル) この端子にギターを接続します。
- **B. ギター・スルー (左側パネル、6.3mm TS、モノラル)** この出力をアンプまたはパワード・スピーカーに接続します。
- C. マイク入力 (XLR、モノラル、バランス)

ここにはダイナミック・マイク、またはコンデンサー・マイクを接続します。

D. マイク入力ゲイン・ノブ

マイク入力のインプット・ゲインを調整します。ピークLED が点滅した場合は、ゲイン・ノブを下げます。

E. +48V ファンタム電源スイッチ

このスイッチは、マイク入力に接続されたコンデンサー・マイク用の+48V ファンタム電源を有効にするために使用されます。

F. メイン出力 (XLR、バランス)

アンプ・システムやスピーカーに接続します。

G. グラウンド・リフト・スイッチ

このスイッチを有効にすることで、ハムやノイズの低減が可能です。

H. ヘッドホン出力 (ステレオ3.5mm)

ヘッドホン(別売)をここに接続します。





I. USB-B 端子

この USB ポートをコンピューターに接続して、ステレオ音声信号をコンピューターへ送受信したり、 MIDI プログラム・チェンジ・メッセージ (プリセット・リコール、A/B モード、Talk モード用)を送信した り、Web インターフェースでソフトウェア・アップデートを行うことができます。詳細については、 (4.12) MIDI コントロール を参照してください。

- J. 電源入力 (DC 9V、1A、センターマイナス) 付属の電源ケーブルをここに接続することで、本体の電源が供給されます。
- K. 電源ボタン (POWER)

このボタンを押すことで電源のオン/オフが切り替わります。

(4.0) オペレーション

この章では、AUTO-TUNE VX5の使用方法について説明します。

(4.1) メイン画面の概要

メイン画面(電源投入時のデフォルト画面)にアクセスするには、任意のメニューから**PRESET ボタン**を押します。**PRESET/EDIT エンコーダー**を回して利用可能なプリセットをスクロールし、もう一度押すことでプリセットを選択してロードします。

プリセットのロードをキャンセルする場合は、PRESET ボタンを押すことで メイン画面に戻るか、5秒待つことで自動的にメイン画面に戻ります。



HEADRUSH

(4.2) Preset/Edit メニュー

プリセットのロード/保存について

- 1. メイン画面でPRESET/EDIT エンコーダーを回すことでプリセットを選択します。 エンコーダーをもう一度押すことで、選択したプリセットがロードされます。
- プリセットに対して Humanize、Speed、Key、Harmony、またはFX パラメーターを 調整します。
- 3. PRESET/EDIT エンコーダーを押し続けることで、以下のオプションから選択すること ができます。
 - Save を選択すると、既存のプリセットを上書き保存します。
 - Save & Rename を選択すると、新しいプリセットとして保存できます。
 - **Copy** を選択すると、他のプリセットにコピーすることができます。
- 4. PRESET/EDIT エンコーダーを回すことで文字をスクロールし、エンコーダーを押す

ことで選択します。

もう一度押すことで、その文字がハイライト表示されます。エンコーダーを操作する ことで、文字一覧をスクロールします。目的の文字が見つかった場合、エンコーダー を押すことで選択できます。 KEY ボタンを押すことで、ハイライトされた文字が削除 されます。プリセットにネームを設定した後、PRESET ボタンを押すことでプリセットの 保存が行えます。

プリセットのリネームについて

- 1. PRESET/EDIT エンコーダーを回すことで、目的のプリセットを選択します。
- PRESET/EDIT エンコーダーを押し続けたまま回してSave & Rename を選択してから、英数字の文字をスクロールして選択します。ネームには最大で9 文字まで使用できます。エンコーダーを押すことで文字が選択され、次の位置に進んでプリセットのネーム編集が続けられます。
- 3. プリセット・ネームを保存する際は、PRESET ボタンを押します。

プリセットのコピー

注意:プリセット・スロットに上書き保存した場合、そのプリセットは消去されます。これを回避するために、空のスロットに保存します。

- 1. PRESET/EDIT エンコーダーを長押しします。
- 2. PRESET/EDIT エンコーダーを回すことで Copy を選択できます。

注意:プリセットをコピーする前には、必ずプリセット名を変更しておくことで名前の 混同を防ぎます。

3. Save to Preset メニューでは、Preset スロットを選択し、PRESET/EDIT エンコ ーダーを押すことで、読み込んだプリセットのコピーがそのスロットに保存されま す。



























13

(4.3) スピード

SPEED ノブを回すことで、入力されたオーディオに対し、ピッチ補正が適用され るスピード(0~400ms)を調整できます。より効果が顕著になるようにする場合、 SPEED ノブをFAST 側に回してRetune の設定を調整します。より自然なピッチ 補正を求める場合、SLOW 側にノブを回します。

(4.4) ヒューマナイズ

HUMANIZE ノブを右に回すことで、持続音にリアルさを加え、ピッチの微妙な変化(0~100%)を維持することができます。ノブを左に回すと、自然なピッチ補正が抑えられ、『ロボット』のようなクラシックなAutoTune 効果に近い設定に調整できます。

(4.5) Key メニュー

KEY ボタンを押すことで、プリセットのキー、スケール、およびボーカル・レンジ を選択できます。

Key:	C、Db、D、Eb、E、F、F#/Gb、G、Ab、A、Bb、B
Scale:	Chromatic、Major、Minor、Melodic Minor、Harmonic Minor、Dorian、 Phrygian、Lydian、Mixolydian、Locrian
Range:	Very Low、Low、Mid、High、Very High



Key:

Scale:

Range:





(4.6) AutoTune メニュー

AUTO-TUNE ボタンを押すことで、ロードされているプリセットのAutoTune 機能がオンまたはオフになります。プリセット内のHarmony やFX パートのみを使用し、入力信号のオートチューニングを行いたくない場合は、この機能をオフにすることをお勧めします。

(4.7) Harmony メニュー

Harmony の編集について

3rd Hi	gh	
Source:	Off	
Level:	75%	

- HARMONY ボタンを押すことで、この機能のオン/オフを切り替えることができます。
 ボタンを再度長押しすることで、オプション・メニューに入ることができます。
- PRESET/EDIT

HARMONY

- 2. **PRESET/EDIT エンコーダー**を回すことで、Harmony Range、Source、またはLevel を 選択し、エンコーダーを押すことでそのオプションが表示されます。
- PRESET/EDIT エンコーダーを回すことで各パラメーターを選択することができます。エン コーダーを押してパラメーターを選択し、その後エンコーダーを回すことでそのパラメータ ーを調整できます。
- 4. PRESET/EDIT エンコーダーをもう一度押すことで、パラメーターの選択とオプション・メニューへの戻る操作ができます。

Harmony Range : (Source が Instrument の場合)	Highest、Higher、High、Unison、Low、Lower、Lowest
Harmony Range: (Source がOff の場 合)	3rd High, 5th High, Oct High, 3rd Low, 5th Low, Oct Low, 3rd Low + 3rd High, 5th Low + 3rd High, 5th Low + 5th High, 3rd High + 5th High, Oct Low + Oct High
Source:	Off、Instrument
Level:	0~100%

(4.8) FX メニュー

エフェクトの選択

- 1. FX ボタンを押すことで、オン/オフの切り替えが行われます。同じボタンを押し続けるとメニューに入ります。
- 2. **PRESET/EDIT エンコーダー**を回し、目的のエフェクト(Compressor、Flavor、 Chorus、Reverb、Delay)に合わせてから押すことで選択できます。
- 3. PRESET/EDIT エンコーダーを押してパラメーターを選択し、エンコーダーを 回すことでエフェクト・プリセットの切り替えやパラメーターの調整が行えます。 PRESET ボタンを押すことで、本体はプリセットのメイン・ページに戻ります。
- 4. PRESET/EDIT エンコーダーを押すことで、パラメーター選択の確定や、エフ ェクトのオン/オフ切り替えが行えます。



FX

PRESET/EDIT

Compressor:



Compressor Type:	Soft、Mild、Hard、Crunch		
Mix:	0~100%		

Flavor:



Flavor Type:	Sizzle、Megaphone、Radio、Soft LoFi、Tube、Phone Vox、Zinger
Mix:	0~100%

Chorus:



Chorus Type:	Basic, Smooth, Deep Chorus, Heavy Slow, Robot Voice
Mix:	0~100%

Reverb:

Reverb	
Ambient	
Mix:	50%

Reverb Type:	Hall、Big Room、Chamber、Ambient、Churchです。		
Mix:	0~100%		

Delay:



Delay Type:	Short Echo, Long Echo, Slapback, Ping Pong, Rhythmic Tail, Dub Delay, DM Resonator			
Time:	1ms ~4.00s			
Mix:	0~100%			

(4.9) フットスイッチ・メニュー

プリセット・ダウン/-A/B フットスイッチを押すことで、前のプリセットに切り替え ることができます。フットスイッチを2 秒間押し続けることで、A/B モードに入りま す。その後、左と右のフットスイッチで、プリセット内の選択したエフェクトをオン またはオフに切り替えます。フットスイッチを長押しすることでA/B モードを終了 します。

プリセット・アップ/Talk モードのフットスイッチを押すことで、次のプリセット に切り替わります。フットスイッチを2 秒間長押しすることでTalk モードが有 効になり、AutoTune、Harmony、FX 機能がバイパスされ、ボーカルにはエ フェクトが適用されません。いずれかのフットスイッチを押すことでTalk モー ドを終了します。

(4.10) ファクトリー・リセット

KEY ボタンとPRESET ボタンを押しながらVX5 の電源を入れることで、工場出荷状態へのリセットを実行またはキャンセルできます。これにより、ユーザー・プリセットがすべて消去され、工場出荷時にプリセットが復元されます。

(4.11) Web インターフェース

AUTO-TUNE VX5 をコンピューターに接続し、Web ブラウザで vx5.local にアクセスすることで、Web イ ンターフェースにアクセスできます(Windows 11 およびmacOS 13~15 に対応)。ファームウェア・アッ プデートが提供された場合に使用します。AUTO-TUNE VX5 のアップデートは、ファームウェア・アップ デート・ファイルに含まれている手順に従って進めてください。









(4.12) MIDI コントロール

外部MIDI コントロール

外部MIDI コントロールが有効な場合、MIDI デバイスを使用してAUTO-TUNE VX5 の一部機能をリモ ートでコントロールすることができます。AUTO-TUNE VX5 は、すべてのチャンネルでMIDI メッセージ を受信します。下記の表には、お使いの外部MIDI ハードウェアからのMIDI メッセージを送信すること でコントロールできるパラメーターが記載されています。

機能	MIDI メッセージ	Values (値)
プリセットの選択(現在のプロ	Program Change	0 - 127 (Bank 1)
クラム内)		0 - 121 (Bank 2)
プリセット・バンクの選択	CC 32	0 = Bank 1 (Preset 1 - 128)
		1 = Bank 2 (Preset 129 - 250)
フットスイッチA/B モード	CC 16	0 = フットスイッチA/B モードの無効化
		1 = フットスイッチA モードの選択
		2 = フットスイッチB モードの選択
Talk モード	CC 17	0 – 60 = Talk モードの無効化
		64 – 127 = Talk モードの有効化

(5.0) 付録

(5.1) プリセット

プリセット#	カテゴリー	プリセット・ネーム	プリセット#	カテゴリー	プリセット・ネーム
1	AUTOTUNE	Hard Tune	30	AT + FX [Delay]	MildTail
2	AUTOTUNE	Warm Tune	31	AT + HARM + FX[Comp + Flavor]	Oct Vox
3	AUTOTUNE	Soft Tune	32	AT + FX [Comp + Flavor]	WarmSizzl
4	AUTOTUNE	Mild Tune	33	AT + HARM + FX[Comp + Flavor]	Oct LoFi
5	HARM + FX [Comp + Chorus]	Octaves	34	AT + FX [Comp + Flavor]	WarmZing
6	HARM + FX [Comp + Chorus]	Fifths	35	AT + HARM + FX[Comp + Flavor]	Oct Radio
7	AT + FX [Verb]	HardVerb1	36	AT + HARM + FX[Chorus + Verb]	HardJuice
8	AT + FX[Verb]	HardVerb2	37	AT + HARM + FX[Chorus + Verb + Delay]	WarmJuice
9	AT + FX[Verb]	HardVerb3	38	AT + HARM + FX[Flavor + Chorus + Verb]	SoftJuice
10	AT + FX [Verb]	WarmVerb1	39	AT + HARM + FX [Chorus + Verb]	MildJuice
11	AT + FX [Verb]	WarmVerb2	40	AT + HARM + FX[Flavor + Chorus + Delay]	HardWow
12	AT + FX [Verb]	WarmVerb3	41	AT + HARM + FX[Chorus + Verb + Delay]	WarmWow
13	AT + FX[Verb]	SoftVerb1	42	AT + HARM + FX[Chorus + Verb + Delay]	SoftWow
14	AT + FX[Verb]	SoftVerb2	43	AT + HARM + FX[Chorus + Delay]	MildWow
15	AT + FX [Verb]	SoftVerb3	44	FX [Verb]	Hall
16	AT + FX [Verb]	MildVerb1	45	FX [Verb]	Room
17	AT + FX [Verb]	MildVerb2	46	FX [Verb]	Chamber
18	AT + FX [Verb]	MildVerb3	47	FX [Verb]	Ambient
19	AT + FX [Delay]	HardSlap	48	FX[Verb]	Church
20	AT + FX [Delay]	HardEcho	49	FX [Delay]	SlapBack
21	AT + FX [Delay]	HardPong	50	FX [Delay]	ShortEcho
22	AT + FX [Delay]	WarmSlap	51	FX [Delay]	LongEcho
23	AT + FX [Delay]	WarmEcho	52	FX [Delay]	PingPong
24	AT + FX [Delay]	WarmDub	53	FX [Delay]	DubDelay
25	AT + FX [Delay]	SoftSlap	54	FX [Delay]	Rhythmic
26	AT + FX [Delay]	SoftEcho	55	FX [Delay]	Resonator
27	AT + FX [Delay]	SoftPong	56	FX[Chorus]	Chorus
28	AT + FX[Delay]	MildSlap	57	FX[Chorus]	Smooth C
29	AT + FX [Delay]	MildEcho	58	FX [Chorus]	Deep C

HEADRUSH

プリセット#	カテゴリー	プリセット・ネーム	プリセット#	カテゴリー	プリセット・ネーム
59	FX[Chorus]	Heavy C	80	FX[Flavor]	Zinger
60	FX[Chorus]	Robot C	81	AT + FX[Comp + Flavor]	HardZing
61	AT + HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	82	82	HARM + FX[Comp + Flavor + Chorus]	HarmZing
62	AT + HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	3HiVerbMn	83	FX[Flavor]	Radio
63	HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	5HiVerb	84	AT + FX [Comp + Flavor]	HardRadio
64	HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	OctHiVerb	85	HARM + FX[Comp + Flavor + Chorus]	HarmRadio
65	AT + HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	3LoVerbMj	86	FX[Flavor]	Mega
66	AT + HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	3LoVerbMn	87	AT + FX [Comp + Flavor]	HardMega
67	HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	5LoVerb	88	HARM + FX[Comp + Flavor + Chorus]	HarmMega
68	HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	OctLoVerb	89	FX [Flavor]	Phone
69	HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	DblOctVrb	90	AT + FX [Comp + Flavor]	HardPhone
70	HARM + FX [Comp + Chorus + Verb]	5ths Verb	91	HARM + FX(Comp + Flavor + Chorus)	HarmPhone
71	FX [Flavor]	Sizzle	92	AT + HARM + FX[Flavor + Chorus + Delay]	Crazinger
72	AT + FX[Comp + Flavor]	HardSiz	93	AT + HARM + FX[Flavor + Chorus + Delay]	Flosizzle
73	HARM + FX [Comp + Flavor + Chorus]	HarmSiz	94	AT + HARM + FX[Comp + Flavor + Chorus + Verb]	MinorLoFi
74	FX[Flavor]	LoFi	95	AT + HARM + FX[Comp+ Flavor+Chorus+Verb]	MajorLoFi
75	AT + FX[Comp + Flavor]	HardLoFi	96	AT + HARM + FX [Comp+ Flavor+Chorus+Delay]	RadioGaGa
76	HARM + FX [Comp + Flavor + Chorus]	HarmLoFi	97	AT + HARM + FX[Flavor + Chorus + Delay]	Tubular
77	FX[Flavor]	Tube	98	AT + HARM + FX[Comp + Flavor + Chorus + Verb + Delay]	SpookyHrm
78	AT + FX[Comp + Flavor]	HardTube	99	AT + HARM + FX[Comp + Flavor + Chorus + Verb + Delay]	MeloMinor
79	HARM + FX [Comp + Flavor + Chorus]	HarmTube			



(5.2) 技術仕様

XLR 入力 (バランスXLR)	
周波数特性	20Hz – 20kHz (+0.2dB)
ダイナミック・レンジ	111dB (A-weighted)
S/N 比	110dB (1kHz, +4dBu, A-weighted)
THD+N	0.003% (1kHz, +4dBu, -1dBFS)
プリアンプ EIN	-133dBu (max gain, 40 Ω source, A-weighted)
	-127dBu (max gain, 150 Ω source, unweighted)
最大入力レベル	+10dBu
入力感度	-46dBu
ゲイン・レンジ	59dB
+48V ファンタム電源	ON/OFF 切り替え可

ギター入力 (バランス 6.3mm TRS またはアンバランス 6.3mm TS)		
周波数特性	20Hz – 20kHz (+0.2dB)	
ダイナミック・レンジ	111dB (A-weighted)	
S/N 比	110dB (1kHz, +4dBu, A-weighted)	
THD+N	0.003% (1kHz、+4dBu、-1dBFS)	
最大入力レベル	+13dBu	
入力インピーダンス	1ΜΩ	
入力感度	-46dBu	

ギター・スルー (バランス 6.3mm TRS またはアンバランス 6.3mm TS)		
出力インピーダンス	540/270 Ω (unbalanced/balanced)	
バッファード仕様	対応	

メインXLR 出力 (パランスXLR)		
周波数特性	20Hz – 20kHz (+0.2dB)	
ダイナミック・レンジ	113dB (A-weighted)	
THD+N	0.001% (1kHz, -1dBFS)	
最大出力レベル	+20dBu	
出力インピーダンス	100 Ω	
グラウンド・リフト	GND/LIFT 切り替え可	

ヘッドホン出力 (3.5mm TRS)	
周波数特性	20Hz~20kHz (+0.2dB)
ダイナミック・レンジ	112dB (A-weighted)
THD+N	0.008% (1kHz, 10mW per channel into 32 Ω)
最大出力レベル	+20dBu (unloaded)
電源仕様出力	100mW RMS (per channel into 32 Ω)
出力インピーダンス	32 Ω

一般仕様	
フットスイッチ	(2)フットスイッチ
ノブ	PRESET/EDIT エンコーダー、VOLUME ノブ、SPEED ノブ、HUMANIZE ノブ
ディスプレイ	1.8 インチ (45.7mm) フルカラーLCD
接続端子	ギター入力 (6.3mm TS、モノラル)、ギター・スルー (6.3mm TS、モノラ ル)、マイク入力 (XLRメス)、メイン出力 (XLRオス)、ヘッドホン出力 (6.3mm)、USB-B端子
USB 接続	ビットレート :24bit サンプリングレート:48kHz
電源仕様	9V DC、1A センターマイナス:2.5mm 標準 電源アダプター
寸法 (幅 × 奥行き × 高さ)	16.7 × 15.2 × 7.1cm
重量	1.1kg

仕様は予告なく変更される場合があります。

(5.3) 商標およびライセンス

HeadRush は、inMusic Brands, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows は、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporation の登録商標です。macOS はApple,

Inc.の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

製品には、ライセンスのもとで使用されている技術が含まれている場合があります。詳細については、<u>inmusicbrands.com/product-legal</u> をご参照ください。さらなるソフトウェア・ライセンス情報は、製品のWeb インターフェースで確認できます。

その他すべての製品名、企業名、商標、または商号は、それぞれの権利者に帰属します。

headrushfx.com